

開講学科	社会環境工学科	前橋工科大学 シラバス			
科目名	景観原論	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2年次	必修	13001701	
担当教員	小林 享	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期	金曜日	5時限
授業の教育目的・目標	われわれを取り巻く環境を、景観としてどのように捉え、考えたらよいのかを理解させる。				
学科の学習・教育目標との関係	地域の特徴を多面的な思考のもとで科学的・工学的に分析することができる(2-a)。				
キーワード	身体感覚、景観体験把握モデル、変動要因、意味論				
授業の概要	景観の基礎的概念を理解し、景観体験の成り立ちを、視覚・聴覚・嗅覚・味覚などの身体感覚を通して考え、さらに景観印象がどのように導き出されるかを感覚の相互作用に言及しながら説明する。また、風景解釈の方法論を言語の収集と分析を例に概述する。				
授業の計画	第1回:	移ろいの風景(1)「移ろい」の概念、移ろい効果			
	第2回:	移ろいの風景(2)時間軸と景観現象			
	第3回:	移ろいの風景(3)気象現象と景観現象			
	第4回:	雨の景観			
	第5回:	風景と視覚(1)視覚の諸機能			
	第6回:	風景と視覚(2)景観現象の基本類型			
	第7回:	風景と聴覚(1)聴覚の諸機能、聴覚体験の特性			
	第8回:	風景と聴覚(2)音の効果、音感の規定と固有性			
	第9回:	風景と触覚、触覚の効果、体感の変動			
	第10回:	風景と嗅覚、匂香の固有性、諸作用			
	第11回:	風景と味覚、景観的意味、体験の構造			
	第12回:	風景と五感(1)景観把握モデル、感覚相互の有機的連関			
	第13回:	風景と五感(2)感覚印象操作			
	第14回:	風景を扱う、景観計画への導入、操作手法とデザイン			
	第15回:	総括			
受講条件・関連科目	論理的な思考力とそれを表現する日本語力、日本文化に関する教養 景観工学、観光レクリエーション計画				
授業方法	講義が中心である。自己学習のための課題を与える。景観の原論的な内容を解説する。				
テキスト・参考書	教科書:『余暇の風景学を考える』(上巻)、小林享著、上毛新聞社				
成績評価	・期末試験(100%) ・レポート(%)・その他 注意事項				
履修上の注意	特になし				